生するためにそれを市が買収することで市民の負担がさらに増えることになる。同店との相乗効果を狙ってのえんぱーく建設断行は、政治的判断ミスではなかったか。（石井）

答　えんぱーく建設計画当時、撤退の噂は確かにあったが、イトーヨーカ堂から撤退はないとの回答があり、えんぱーく建設を控える状況ではなかった。また、商業施設としてのウイングロードビル再生を多くの市民が望んでいるし、中心市街地活性化を進めるためにも、空きビルとしてこのまま放置はできない。

◆商業ビル取得と市の活性化

問　大門へ集中投資が、市全体の発展に繋がるか。（古厩）

答　中心市街地は塩尻市の顔。ここを整える事で町の活性化を目指す。市費による商業ビル取得は再生に最善の策だ。

現在の中心市街地
（大門商店街）

現在のウィングロードビル１階の様子
（3月29日撮影）

◆108億投資2千700万円税収減

問　市は、市民交流センターの建設は、イトーヨーカ堂を撤退させないためにも必要と説明して来た。センター完成を目前にヨーカ堂が撤退してしまったのは小口市政の最大の失敗ではないか。その責任をだれも取ることなく、ヨーカ堂店舗跡を市が買い再生するという話が市民にも議会にも詳しく知らされず進んでいる。市は「空き店舗は放って置くわけにいかない」と言うが、こういう莫大な税金の無駄遣いは放って置いて良いのか。市民交流センター建設、ヨーカ堂店舗跡取得、駅南再開発ビル建設。これら３カ所のハコモノへの税金投入の累計額はいくらになるのか。その投資効果として、固定資産税・都市計画税の税収が増えるなら良いが、実際は減ったのではないか。（青柳）

答　３カ所の合計の投資額は108億４千400万円余となる。税収面では、市が取得することで非課税となる影響で、年税額で約３千300万円の税収減となる。増収が見込まれるものもあり、その額は年税額で約600万円と試算している。

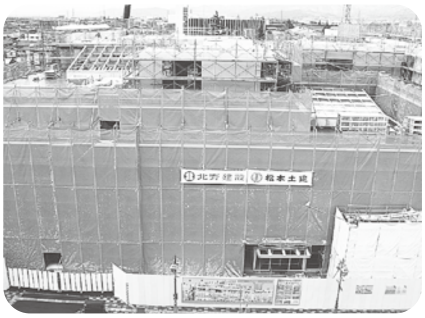
問　活性化のためにしたことが、税収を減らす結果というのでは問題だ。投資効果という面の評価をしっかりやるよう要望したい。（青柳）

◆ヨーカ堂撤退による教訓は

問　過去の経過も踏まえ、ヨーカ堂の進出と撤退から学ぶべき教訓は。（小野）

答　大きな間違いはなかった。車社会による商環境の構造的な変化をはじめ、コンビニや

17年前の中心市街地
（大門商店街）



3月で工事が70%以上
進んでいるえんぱーく

ネット販売の増加等、17年間で大きく変わった。この場所は中心市街地の重要な箇所で商業再生の拠点である。

◆議会内で納得のゆく議論を

問　「緊急性、公共性、公益性がなく、不当な支出である」として住民監査請求がなされた場合、どんな観点から審査していくのか。（小野）

答　請求の構成要件を十分に確認し、不当とする事実については請求者から口頭説明も受け、請求受理から60日以内に判断する。いずれにせよ、まずは議会内で納得のゆく議論をしてほしい。

◆工事進捗率は70％

問　市民交流センターの開館期日とその記念イベントの内容は具体化したのか。また、同センターの工事進捗率はどうなのか。（小野）